| 学校番号 | 404 |
|---|---|

# 令和5年度　　公民科

| 教科 | 公民 | 科目 | 政治・経済 | 単位数 | 3単位 | 年次 | 3年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「現代政治・経済　新訂版」（清水書院） | | | | | | |
| 副教材等 | 2023新政治・経済資料　三訂版（実教出版） | | | | | | |

## 1. 担当者からのメッセージ（学習方法等）

教科書に準拠した講義形式の授業に、時事問題に関心が持てるように学習し、単元ごとの小テスト等による知識の定着を図る。
また調べ学習を実施したうえでプレゼンテーションや討論を行い、相互評価を取り入れた評価を行う。政治経済上の諸問題について自分の考えを述べたり、文章で表現する機会を設ける。

## 2. 学習の到達目標

広い視野に立って、民主主義の本質の理解を深めさせ、現代における政治・経済・国際関係等について客観的に理解させるとともに、それらについての諸問題を主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある市民として責任のある行動する力を養う。

## 3. 学習評価（評価規準と評価方法）

| 観点 | a：関心・意欲・態度 | b：思考・判断・表現 | c：資料活用の技能 | d：知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 現代の政治・経済・国際関係について関心を高め、意欲的に課題を追求し、責任ある公民として平和で民主的な社会生活の実現に向けて参加・協力する態度を身につけ人間の生存についての自覚を深めようとする。 | 現代社会の諸問題から課題を見出し、社会的事象の本質や人間の存在や価値について、多面的・多角的に考察し、社会の変化や多様な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結論を適切に表現している。 | 現代社会の諸問題についての諸資料を収集し、批判的に、公正かつ精確に情報を活用し、客観的な根拠を示している。 | 現代社会の様々な問題について基本的な知識を持ち、また考察に使える概念の理解ができて、精確に使えるか。 |
| 評価方法 | レポート、プレゼン・討論への取り組み姿勢、テーマの選択、探究心の深まりを評価する。また授業におけるノートの作り方の工夫を見る。 | レポート・プレゼン・討論などの構成・説得力のある客観的根拠、用語や表現の適切な使用ができる。 | 様々な方法による情報の収集ができ、批判的に情報の処理を行い、公正な判断や論証ができる。 | 現代社会に関する基礎知識の理解、分析に有効な概念の理解と適切な使用が出来ているか。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元（題材）の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1学期 | 現代の政治 | 民主政治の基本原理<br>日本国憲法と国民主権<br>日本国憲法と平和主義<br>日本国憲法と人権保障<br>日本の政治機構<br>現代日本の政治<br>国際政治と日本 | ○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○<br>○ | a:民主主義とは何か、民主主義が健全に行われるために必要な事は何かを考察している<br>b:憲法の条文を現実の事象、裁判でどう解釈し判断するかを理解している<br>c:裁判や議論などで両方の主張の公正な扱いができている。<br>d:条文や制度の意義、運用について精確に理解できている。 | 定期考査<br>授業プリント・ノート<br>グループディスカッション |
| 2学期 | 現代の経済 | 現代経済のしくみと特質<br>金融と財政の仕組み<br>日本経済の歩みと現状<br>福祉の向上と日本経済の課題<br>世界経済と日本 | ○ | ○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○ | a:経済問題を自分の問題として理解し、将来を考えることができる。<br>b:経済がどのような関連で動いているのかを分析できる。<br>c:統計やグラフに慣れ、経済指標を理解して分析ができる。<br>d:経済用語の精確な理解ができている。 | 定期考査<br>授業プリント・ノート<br>グループディスカッション |
| 3学期 | 現代政治・経済の諸課題 | 現代日本の諸課題<br>国際社会の諸課題 | ○<br>○ | ○<br>○ | ○ | ○ | a:時事問題について基本的な理解ができ、公正な判断ができる。<br>b:時代の大きな流れを読み取り、未来への展望を持とうとしている。<br>c：グローバル化と〇〇ファーストという対立図式や格差拡大を理解。<br>d:時事用語・ニュースについて構成に理解している。 | 定期考査<br>授業プリント・ノート<br>グループディスカッション<br>レポート |

※ 表中の観点について　　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現

c：資料活用の技能　　d：知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。